

(25)

⑧宮前：地番 615-6 等の私道舗装等整備費用の助成

- 申請書提出～ 2007.1.18 さいたま市収受道路安全対策課 第 30 号
- ⇒ 2008 年 3 月舗装側溝整備完了
- ⇒ 2010 年 4 月 26 日私道の市への移管完了  
(市道 32670 となる) 済



⑨宮前：県道大谷本郷さいたま線と市道 31558・31095 の交差点への信号機設置

- 陳情書提出～ 2007.6.28 埼玉県大宮西警察署交受
- ⇒同所には横断歩道設けられており、横断者数からも信号機設置の必要性が乏しい。  
(大宮西警察：2011.8.31 & 2014 年 2 月回答)



⑩宮前：県道上野さいたま線の西大宮バイパス上の交差点に歩行者用信号機を設置する。

- ◆要望書提出～ 2007.10.2 埼玉県大宮西警察署交受⇒ 2009 年 3 月歩行者用信号機を設置 済

⑪宮前：市道 32634・32580・32581 の舗装側溝整備

- スマイルロード申請書提出～ 2009.5.14 さいたま市収受道路維持課 第 515 号
- ⇒ 2013 年 10 月施工完了 済

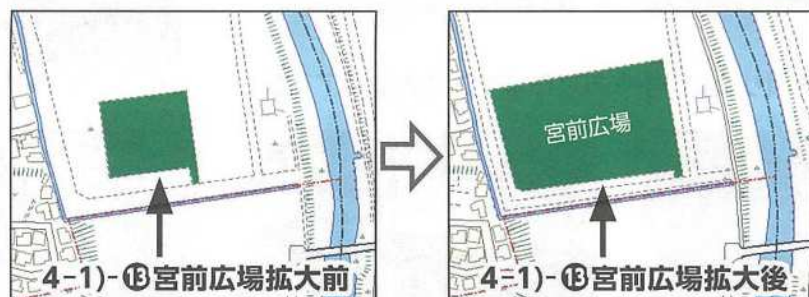


⑫宮前：宮前小学校南側歩道の舗装整備

- 要望書提出～ 2012.5.10 コミュニティ課預り 第 1 号⇒ 2012 年 9 月舗装整備完了 済

⑬宮前：宮前広場の拡大整備

- 要望書提出～ 2004.8.12 コミュニティ課預り 第 8 号⇒ 2005 年度施工完了 済



⑭宮前：宮前広場使用継続の再要望～宮前広場は県有地で埼玉県は売却する予定でした。

- ◆要望書提出～ 2011.3.10 さいたま市収受都市公園課 第 3792 号
- 再要望書提出～ 2012.3.15 さいたま市収受都市公園課 第 4152 号
- ⇒ 2012 年 12 月：県の土地を市が借用 (年約 545 万円) する事で合意、使用継続可能になる。 済

宮前広場の拡幅と排水整備

⑮宮前：宮前広場の排水改善

- 要望書提出～ 2016.2.24 コミュニティ課預り 第 5 号⇒ヒューム管設置による排水工事、2018 年 3 月施工完了 済

⑯宮前：市道 31114 下への水道管の敷設

- 要望書提出～ 2013.9.19 コミュニティ課預り 第 2 号⇒ 2015 年敷設完了 済



⑰宮前：県道上野さいたま線の宮前小学校入り口前の歩道整備

- ◆要望書提出～ 2015.6.15 さいたま市収受道路環境課 第 725 号
- ⇒ 2022 年 9 月 30 日施工完了 済





### 4-2) 三橋 5・6 丁目に関わるもの

①三橋 5 丁目：県道大谷本郷さいたま線の三橋交番～並木橋の側溝整備

◆スマイルロード申請書提出～ 2003.12.22 ⇒ 2023 年 2 月 1 日施工完了 (済)



4-2)-①大谷本郷さいたま線：側溝整備前



4-2)-①大谷本郷さいたま線：側溝整備後

②三橋 5・6 丁目：主要地方道さいたま春日部線の側溝改良整備 (2 箇所)

●スマイルロード申請書提出～ 2015.5.22 さいたま市収受北部道路維持課 第 658 号⇒ 2019 年 3 月施工完了 (済)

◆スマイルロード申請書提出～ 2015.11.27 さいたま市収受北部道路維持課 第 3965 号⇒ 2019 年 3 月施工完了 (済)



4-2)-②さいたま春日部線側溝整備前



4-2)-②さいたま春日部線側溝整備後

③三橋 6 丁目・宮前：市道 30964 (JR 川越線の南、三橋 6 丁目から宮前町に至る東西道路) の舗装側溝整備

◆暮らしの道路申請書提出～ 2003.9.5

● 2006 年 1 月再陳情⇒ 2007 年 3 月施工完了 (済)



4-2)-③市道30964整備後

三橋 5 & 6 丁目の  
道路整備

④三橋 6 丁目：三橋 6 丁目 1742 & 1743 番地の団地内の私道舗装側溝整備助成と下水道敷設推進

●要望書提出～ 2005.8.4 さいたま市収受コミュニティ課 第 81 号⇒ 2010 年度内下水道敷設完了 (済)

⑤三橋 6 丁目：三橋 6 丁目 1743-1 等の私道舗装等整備費用の助成

●申請書提出～ 2007.10.12 さいたま市収受道路安全対策課 第 687 号  
⇒ 2011 年 7 月舗装側溝整備施工完了 (済)



4-2)-⑤三橋6丁目の私道整備後



4-2)-④&⑤私道の舗装側溝整備と  
下水道敷設

⑥三橋 6 丁目：三橋 6 丁目 1742 & 1743 番地の道路冠水・床下浸水に関する陳情

●要望書提出～ 2015.9.2 さいたま市収受北部 下水道建設 1 課 第 879 号

⇒ 2016 年 2 月大谷本郷さいたま線の道路交叉部分の側溝の蓋をグレーチングに変更施工完了 (済)



⑦三橋 6 丁目：三橋 6 丁目南公園内敷地のダスト舗装改修の拡大整備

●要望書提出～ 2005.8.9 コミュニティ課預かり 第 7 号⇒ 2005 年度内舗装改修 (済)

⑧三橋 6 丁目：県道大谷本郷さいたま線のセイス～三橋プール部分の舗装・側溝改良

◆スマイルロード申請書提出～ 2008.7.27 さいたま市収受北部道路維持課 第 2248 号⇒ 2019 年 12 月 6 日施工完了 (済)



4-2)-⑧大谷本郷さいたま線：側溝整備前



4-2)-⑧大谷本郷さいたま線：側溝整備後

⑨三橋 6 丁目：市道 30952 (大宮ショートコースゴルフ練習場の北の道) の道路整備

●スマイルロード申請書提出～ 2005.8.9 コミュニティ課預り 第 6 号⇒ 2009 年 3 月施工完了 (済)



4-2)-⑨市道30952：整備後



4-2)-⑩市道30935：整備後

⑩三橋 6 丁目：市道 30935 (大宮西中学校体育館の東) の未整備部分の舗装改良側溝整備

●スマイルロード申請書提出～ 2005.9.15 コミュニティ課預り 第 9 号⇒ 2009 年 12 月施工完了 (済)

⑪三橋 6 丁目：市道 30934 の未整備部分の拡幅側溝整備

◆要望書提出～ 1999.2.4 大宮市役所受付土建 第 173 号

◆ 2006 年 1 月再陳情 ◆ 2007 年 1 月再々陳情

⇒ 2009 年 12 月施工完了 (済)

⑫三橋 6 丁目：市道 31724 & 31721 の拡幅側溝整備

●暮らしの道路申請書提出

～ 2006.12.18 さいたま市収受道路安全対策課 第 98 号

⇒ 2013 年 3 月施工完了 (済)

⑬三橋 6 丁目：市道 31731 の舗装側溝整備

●暮らしの道路申請書提出～ 2008.10.29 さいたま市収受道路安全対策課 第 17 号⇒ 2013 年 7 月施工完了 (済)



4-2)-⑫市道31724：整備後

4-2)-⑬市道31721：整備後



4-2)-⑬市道31731：整備前



4-2)-⑬市道31731：整備後

⑭三橋 6 丁目：市道 30904 の舗装側溝整備

●暮らしの道路申請書提出

～ 2022.7.22 さいたま市収受道路安全対策課 第 17 号

⇒ 2023 年 1 月道路整備の前に雨水集水樹 2 箇所設置



4-2)-⑭市道30904



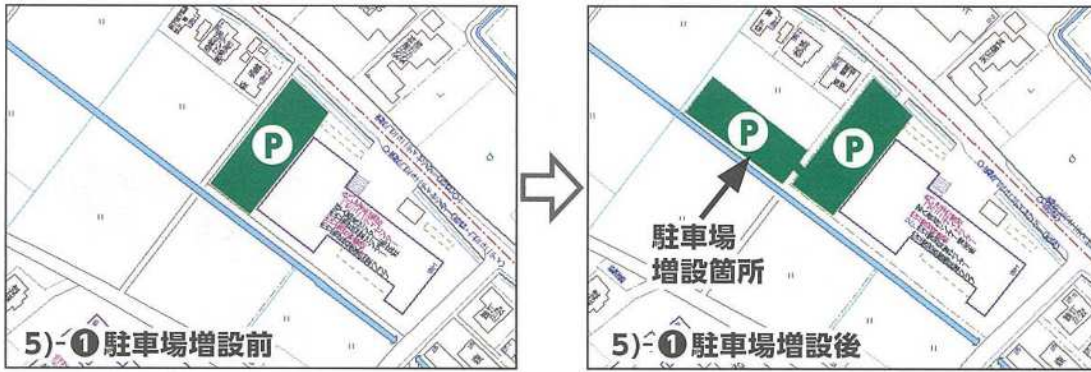
4-2)-⑭雨水集水樹2箇所設置



### 5) 馬宮地区・プラザに関わるもの

#### ①馬宮コミュニティセンターの駐車場の増設・整備促進

◆故青木一郎元さいたま市議会議員のご功績です。⇒ 2008年4月増設完了 (済)

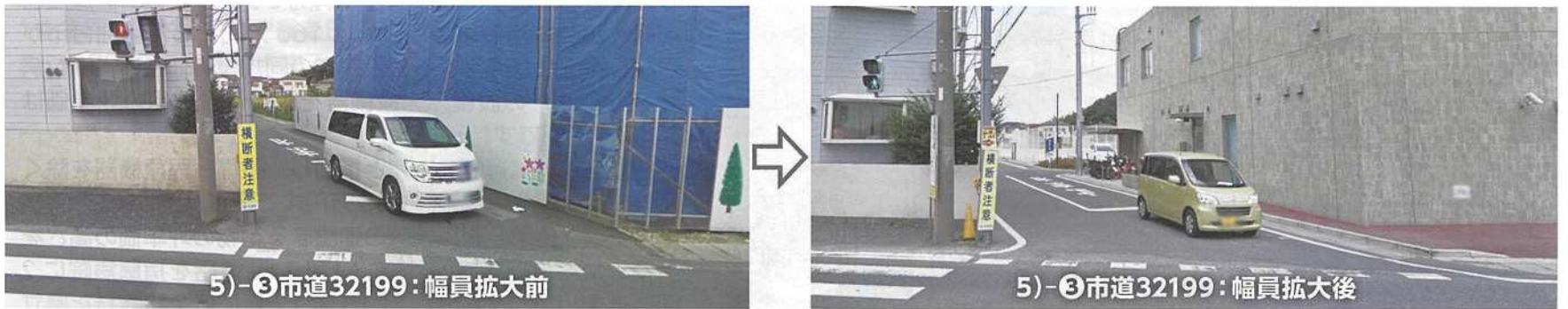


#### ②西遊馬：市道 41204 下への水道管の敷設

●陳情書提出～ 2007.6.29 さいたま市水道局収受施設課 第 600 号⇒ 2008年8月敷設完了 (済)

#### ③土屋：市道 32199 の主要地方道さいたま春日部線との合流部の幅員拡大 (飯能信用金庫開設の際に拡幅)

◆ 2007年1月陳情 ◆ 2008年1月再陳情⇒ 2011年12月拡幅完了 (済)



#### ④二ツ宮・飯田：主要地方道さいたま鴻巣線 (飯田 288 ～二ツ宮 527 付近) のグレーチング蓋側溝の交換等による大型車両通行時の振動軽減

◆陳情書提出～ 2006.2.14 さいたま市収受道路維持課 第 588 号  
⇒ 2006年6月に側溝の位置を変更し舗装改良 (済)

#### ⑤二ツ宮：主要地方道さいたま鴻巣線 (二ツ宮 511 付近) の道路修繕

●陳情書提出～ 2005.3.1 コミュニティ課預り 第 23 号⇒ 2005年3月補修完了 (済)

#### ⑥荒川右岸：飯田新田交差点の歩道拡幅

●要望書提出～ 2018.1.31 さいたま市収受道路環境課 第 2116 号  
⇒ 2023年3月に歩道整備を含む交差点改良工事完了予定 (2023年3月 建設局道路環境課回答)

#### ⑦荒川右岸：市営馬宮団地立替の際に医院を誘致する要望書

●要望書提出～ 2018.1.31 さいたま市収受住宅政策課 第 3936 号  
⇒令和4年10月から馬宮住宅解体工事に着手し、令和6年2月末に解体工事完了予定。  
解体工事完了後、令和6年度から令和9年度に2期工事に分けて120戸の市営住宅を整備予定。  
現在の4号棟・5号棟の区画を余剰スペースと想定。  
建設工事完了後の令和10年度以降に余剰地活用を想定しているが、令和9年度の可能性もある。  
余剰地活用については庁内での活用意向が無ければ、公募にて「社会福祉施設や医療クリニック等」へ有償貸付をする予定。  
(2023年3月 建設局住宅政策課回答)

**荒川右岸に  
医療施設誘致**

#### ⑧西遊馬・二ツ宮・荒川右岸：荒川堤防の築堤道路の治水橋に繋がる部分に待避所を設置する。

(国交省の荒川スーパー堤防事業に伴う築堤道路の縁石整備で車両の対向が困難に)

◆ 2015.7.6 金井康博市議の市政報告会に国土交通省とさいたま市の担当者を読んで要望  
⇒ 2016年9月に待避所を6か所設置 (済)





⑨西遊馬：さいたま鴻巣線の西武バス西遊馬停留所前のT字路に押しボタン式信号機を設置

◆2021.3.17 金井市議からの要望書を日下部が紹介議員になり県警本部総務課に提出

⇒指扇駅入口交差点からの距離が110m（信号機設置基準では150m以上）しかない事と横断者数が少ない事より、現時点では設置見送り（2021年10月5日：県警回答）

⑩プラザ：プラザ2号公園の繁茂する樹木の剪定

●2019.2.11 電子メールにて陳情⇒2019年4月以降に剪定予定（2019.2.12 回答）⇒2019.6.29 剪定作業完了（済）

⑪馬宮・植水：新川の河川整備

◆2003年度（市議1期目）からの要望事項

⇒令和3年度末の進捗率は、総延長3.75kmに対して、1.29km完了し、約34%。

令和4年度末、現在、馬宮中学校北側において、橋梁上部工を施工中。

（2023年3月 建設局河川課回答）

## 6) 植水地区に関わるもの

①島根：さいたま市民医療センターの開設推進⇒2009年3月開院（済）

●整形外科とリハビリのスタッフは日下部が招集

### 6)-①さいたま市民医療センター



2008年5月の日下部の市長選挙出馬表明がさいたま市民医療センターの開設を促進

②島根：さいたま市民医療センター周辺農道への「農作業車優先」看板設置

◆陳情書提出～2008.2.28 さいたま市収受道路環境課 第3664号

⇒2008年内設置完了（済）

③水判土・飯田・中野林：新川に架かる橋梁架換拡幅の推進

◆陳情書提出～2003.7.22 コミュニティ課預り 第6号

ア. 観音通りの袋橋

⇒袋橋：2006年3月完了（済）

◆水判土橋、観音橋について再陳情書提出

～2006.7.4 さいたま市収受道路計画課 第995号

イ. さいたま・上福岡所沢線の水判土橋

ウ. 市道40623の観音橋⇒水判土橋&観音橋：2010年3月完了（済）

④水判土・飯田：観音橋の橋梁架換拡幅の際、歩道を設置する。

◆陳情書提出～2007.7.13 さいたま市収受道路環境課 第1227号

⇒市道に歩道設置の計画が無いので観音橋には歩道設置しない。

（2007年回答）

⑤水判土：水判土439番地付近の市道40357の道路整備

◆スマイルロード申請書提出

～2007.7.2 さいたま市収受道路維持課 第897号

⇒本申請は暮らしの道路整備事業に該当するため平成

2010年度舗装工事のみで対応（済）

⑥水判土・飯田：さいたま鴻巣線のさいたまふじみ野所沢線への抜け道交差点に信号機設置

◆陳情書提出～2012.6.1 埼玉県大宮西警察署

⇒信号機設置には道路拡幅等交差点改良が必要、横断

者数も多くないので要望を見送る。（2014年2月回答）

## さいたま市民医療センターの開設

さいたま市民医療センター（340床）はさいたま市が建設し医師会が運営する公設民営の病院ですが、設備・医療機器を除く建設費用の予算坪単価は166万円でした。仙台市が建設し医師会が運営する公設民営の同規模の仙台オープン病院（330床）の設備・医療機器を除く建設費用の坪単価は83万4千円です。

日下部が「高過ぎる！」と指摘し、設備・医療機器を除く建設費用の落札坪単価は135万円まで下がりました。

市長選に出馬し相川市政の建設する箱物の坪単価の高さを指摘した所、「日下部を殺す！」という電話を指扇病院に2回頂きました。ちなみに2013年12月に新築移転した県立がんセンター（503床）の設備・医療機器を除く建設坪単価は88万4700円（税別）でした。



## 観音橋 水判土橋 袋橋の 架け換え



6)-②-ウ架け換え後の観音橋



6)-②-ア架け換え後の袋橋



6)-②-イ架け換え後の水判土橋



6)-②農作業車優先の看板



⑦水判土：事故を誘発しかねない速度規制道路標識の設置位置の改善

◆金井市議からの要望書を日下部が紹介議員となって県に提出～ 2018.12.19 埼玉県警⇒ 2018年12月22日 道路標識の撤去 (済)



6)-⑦事故を誘発しそうな道路標識



6)-⑦道路標識を撤去



6)-⑧傾いた転落防止柵



6)-⑧転落防止柵の改修

⑧水判土：鴨川の傾いている転落防止柵の改修

◆金井市議からの要望書を日下部が紹介議員となって県に提出～ 2018.12.19 県土整備政策課 ⇒ 2019年2月26日改修完了 (済)

⑨水判土・中野林：鴨川の繁茂した草木の除去

◆金井市議からの要望書を日下部が紹介議員となって県に提出～ 2019.12.13 県土整備水辺再生課 ⇒ 2020年度内施工完了 (済)



6)-⑨鴨川に繁茂した樹木



6)-⑨繁茂した樹木の伐採

⑩水判土・三橋5丁目：鴨川の繁茂した雑木の伐採

◆金井市議からの要望書を日下部が紹介議員となって県に提出～ 2020.4.3 県土整備水辺再生課⇒ 2020年度内施工完了 (済)

⑪水判土：水判土交差点信号機改良 (バイパスから指扇方面右折用の青色矢印信号の増設)

◆金井市議からの要望書を日下部が紹介議員となって県に提出～ 2020.6.12 埼玉県大宮西警察署交受 第30号 ⇒ 2021.3.19 バイパスから指扇方面右折用の青色矢印信号灯火 (済)



6)-⑪水判土交差点に右折用信号機設置



⑫水判土・佐知川：市道 40673 (橋本屋酒店の北) の拡幅側溝整備

◆ 2008年1月陳情⇒ 2012年6月：東半分施工完了 2013年3月：西半分施工完了 (済)



6)-⑫市道40673：整備前



6)-⑫市道40673：整備後

⑬佐知川：市道 40665 の下水道敷設後の震動軽減舗装改良

●要望書提出～ 2012.8.30 さいたま市収受西区コミュニティ課 第2号⇒ 2013年3月舗装改良施工完了 (済)



⑭佐知川団地：市道 40725 の舗装側溝改良

◆スマイルロード申請書提出～ 2015.6.29 さいたま市収受道路維持課 第 1171 号⇒ 2018 年 1 月施工完了 (済)



6)-⑭市道40725：整備前



6)-⑭市道40725：整備後

⑮佐知川・中野林：マルエツ佐知川店角の交差点改良（西進する信号機を時差式に変更）

◆金井市議からの要望書を日下部が紹介議員となって県に提出～ 2020.6.12 埼玉県大宮西警察署交受 第 31 号

⇒西進方向の歩行者用信号機を設置するスペース確保が困難な為、信号機を時差式に変更は困難。(2020.9.30 県警回答) (済)

⑯中野林：中野林 71 番地付近の市道 40603 & 40605 の U 字溝に蓋を設置する。

◆陳情書提出～ 2006.7.31 さいたま市収受道路維持課 第 389 号

⇒U 字溝で無く水路のため蓋掛は困難、2008 年に水路にフェンスを設置して転落に対応 (済)



6)-⑰信号機設置要望箇所

⑰中野林：中野林 748-1 番地先への信号機設置

◆陳情書提出～ 2017.2.3 埼玉県大宮西警察署交受 第 7 号

⇒交通量が少ない。信号機の建柱のスペースが確保できない。歩行者溜りが確保できないとの理由により設置見送り。(2017 年 12 月県警回答) (済)

◆再陳情書提出～ 2020.6.12 埼玉県大宮西警察署交受 第 29 号

⇒主道路の 1 時間当たりの最大交通量が 108 台で信号機設置基準の 300 台以上を満たしていない。

南西従道路の車道の幅員が信号機設置基準の 5.5m 以上を満たしていない。

直近 1 年間の事故の件数が 1 件で信号機設置基準の 1 年間で 2 件以上を満たしていない。

信号機の建柱のスペースと歩行者溜りが確保できない。以上の理由により設置見送り。(2023 年 2 月県警回答) (済)

⑱中野林南：中野林 908 地先の用水路脇道路に一方通行&進入禁止の道路標識を設置

◆金井市議からの要望書を日下部が紹介議員となって県に提出～ 2019.12.13 埼玉県警総務課⇒ 2020 年 10 月 9 日設置完了 (済)



6)-⑱一方通行の道路標識設置



6)-⑱進入禁止の道路標識設置



6)-⑲学校橋大宮区側  
整備前



6)-⑲学校橋大宮区側  
整備後

⑲植田谷本：市道 40411（学校橋に通じる道）の拡幅整備

◆陳情書提出～ 2007.11.26 さいたま市収受道路環境課 第 2649 号

⇒ 2021 年度に学校橋の下部工施工完了。2022～2023 年度に上部工施工。

2023 年度に西区側（市道 40411 号線及び市道 40422 号線）の道路を整備予定（2023 年 3 月 建設局道路環境課回答）

学校橋の架け換え

4-1)-⑳宮前町補足：災害対策等用地先行取得の要望書

◆要望書提出～ 2021 年 6 月 11 日さいたま市収受道路環境課 第 521 号（2023 年 3 月 建設局河川課&道路環境課回答）

ア. 宮前町 1435, 1446, 1447, 1464-1, 1463-3 の土地収用

⇒当該地に流入する水路が周辺にないことから、災害対策等用地としての取得は困難

イ. 前原橋の架け換え⇒現在、架け替えの計画はなく、定期点検に基づき、老朽化対策を適切に実施

ウ. 接する西区側の市道 31035 の拡幅整備⇒整備方針の検討を行い、現道内での対策を検討

エ. 貯留機能施設整備⇒流入水路が周辺にないことから、当該地を取得し、貯留機能施設整備を進める事は困難

4-2)-㉑三橋 5 丁目・佐知川補足：子供たちの通学路の安全施設整備の要望書

◆要望書提出～ 2022 年 5 月 18 日埼玉県大宮西警察署交受

ア. 青葉園前交差点の信号機を歩車分離式に。

⇒歩車分離信号機設置には交通量が少なく、2022 年 7 月 11 日に歩行者用と車用の信号機のサイクルを調整して対応 (済)

イ. 県道大谷本郷さいたま線の三橋 5 丁目 1520-2 先に押しボタン式信号機を設置

⇒信号機建柱スペースが無い。歩行者溜りのスペースが無い。以上の理由で見送り。(2022 年 6 月 14 日県警回答) (済)

ウ. 県道大谷本郷さいたま線の青葉園交差点から三橋 6 丁目交差点まで歩行者ゾーン確保のラバーポールを設置

⇒ラバーポールを 3 箇所設置 (2022 年度内設置完了) (済)

エ. 県道大谷本郷さいたま線のスクールゾーン時間帯の一般車両の横断通行の取り締まり強化

⇒今後も継続的に取り締まりを強化 (2022 年 5 月 18 日県警即答) (済)

オ. 佐知川 420-9 先に横断歩道を設置

⇒道路の幅員が 4 m で横断歩道設置基準の 5.5 m 以上を満たしていない事から見送り。(2022 年 6 月 14 日県警回答) (済)



ら・ぽ〜と(rapport)とは「信頼・調和・話し合う」という意味です。

# ら・ぽ〜と

県政報告

vol.9

埼玉県議会議員

北第5区(熊谷市)

# 杉田しげみ



2022年(令和4年)4月12日

発行:埼玉県議会 自由民主党議員団

http://sugita-shigemi.com



県行政を

熊谷へ分散移転

【令和4年度所属委員会】 常任委員会…県土都市整備委員会／特別委員会…経済・雇用対策特別委員会

## 県議会2月定例会報告

### 県政史上最大規模《一般会計当初予算》2兆2,284億5,900万円を議決 直面する危機からの脱却と日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現へ

県議会2月定例会は2月17日に開会し、過去最大となる一般会計当初予算2兆2,284億5,900万円等を議決し、3月25日に閉会しました。

「直面する危機からの脱却」と「日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現」の2つを柱に掲げた当初予算は、最も重要な課題として新型コロナ対策として約1,845.5億円が計上され、ワクチン接種医療機関への支援をはじめ高齢者施設などのクラスター対策の強化などが盛り込まれました。またウィズコロナの下、その有用性が高まっているデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進についても、県庁のDX化を進めるために約31.8億円、中小企業のDX化支援に約1.8億円、キャッシュレス決済の導入を進める商店街支援に約1.4億円などが計上されました。

新型コロナウイルス感染症の長期化にともない県の財政は厳しい状況が続きますが、県民の安心・安全の確保を最優先に、人々の生活と健康、地域経済を守るために全力で取り組んでいく所存です。

## 埼玉県5か年計画に復活しました。北部地域振興交流拠点の検討推進

県が新たに策定・発表した5か年計画に「北部地域振興交流拠点の検討推進」が明記されました。地域の交流施設、産業支援施設、県立図書館が一体となった「北部地域振興交流拠点」のコミュニティひろばへの整備が復活し実現に向け大きく動き出しました。

「北部地域振興交流拠点」については、昨年9月定例会で私が行った一般質問に対して大野知事は「県と熊谷市が産業支援施設や県立図書館、地域の交流施設などを共同事業により、一体的に整備するものとして検討してきた。北部地域に産業拠点施設を造って企業のイノベーションを後押しすることは、県全体の活力を高める上で重要なこと。新たな埼玉県5か年計画に「北部地域振興交流拠点の検討推進」を盛り込み、地域の特性を生かしながら時代のニーズに合った企業支援策を具体化していきたい」と答弁していました。



## 令和5年度オープンへ!!

### リニューアル進む熊谷児童相談所

北部地域の一時保護所不足を改善するとともに、熊谷児童相談所の老朽化・狭隘化に対応するため、熊谷児童相談所と一時保護所の一体的整備が進んでいます。(令和5年度開設予定)。

■令和4年度予算:  
19億771.5万円

#### ■事業概要

- ①熊谷児童相談所・一時保護所の整備※居室の個室化、学習室の充実、人材育成の拠点となる研修室の設置等
- ②第8児童相談所(仮称)一時保護所の新設整備



熊谷児童相談所の完成イメージ

## 熊谷駅から徒歩3分!

### コロナワクチン接種北部会場を新設

■令和4年度予算:  
99億7,026.5万円

#### ■事業概要

- ①埼玉県ワクチン接種センターの運営(熊谷を含め4か所に拡充)
- ②接種医療機関等への支援(新規)
- ③副反応等の相談窓口の運営・正確な情報の周知

NEW  
4/13~ 北部会場  
(熊谷駅徒歩3分)



## 熊谷市が事業補助対象市に!!

### 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進

熊谷市スマートシティの取り組みが県の令和4年度の補助対象事業となりました。

■令和4年度予算:1億4,282.1万円



## 愛する熊谷のために心をつくします。

## 「県行政を熊谷へ分散移転」し 県北の元気をつくります

熊谷の皆さまに「県行政を熊谷へ分散移転」をする夢を実現することを、ご提案して5年が経ちました。

議会において、この3年間2回にわたり一般質問をいたしました。

県内の大きすぎる南北格差を平均化する施策は様々ある筈です。

私は県行政(県庁)の一部を熊谷へ移転することが、熊谷市のみならず県北全体が元気になる必須条件と確信いたしております。実現に向けて誠心誠意努力いたします。

## 生命産業である農業は私たちの安全保障です。

県北は利根川・荒川の豊かな水と肥沃な土壌に恵まれた農業地帯です。自然から与えられた環境を最大限活用し、まず、県北地域の食料自給率100%を早期に目指し、生活基盤を整備することが人を守り・県土を守ることです。

## 子ども虐待を防止し、大切な子どもの命を守りたい。

残念ながら子ども虐待に歯止めがかかりません。もし、子ども虐待を「見かけたら」「知ったら」大人の責任として ☎189(いちばやく)へ連絡してください。

今こそ、みんなで守る子どもの今と未来。

子ども虐待防止活動(オレンジリボン活動)にご協力をお願いします。



# 死亡ひき逃げ事件の時効撤廃を求める意見書を可決

平成21年9月に熊谷市で発生した小学生の死亡ひき逃げ事件は、犯人はいまだ検挙されていません。愛する家族を突然奪われた遺族の心情は、想像を絶するであろうことは察するに難くありません。

死亡ひき逃げ事件の公訴時効は、現在、救護措置義務違反が7年、過失運転致死罪が10年、危険運転致死罪が20年とされています。熊谷の事件は当初、過失運転致死罪が適用されていましたが、捜査罪名が危険運転致死罪に変更適用され、現在も捜査が続いています。

県議会2月定例会では以下のことを求める意見書を可決し、国に提出しました。

- 1 死亡ひき逃げ事件などにおける公訴時効の撤廃を検討すること。
- 2 過失運転致死罪の法定刑の上限を引き上げることによって、危険運転致死傷罪との不均衡を是正するとともに、危険運転致死傷罪の構成要件に関しては、明確性を失わないようにしつつ、現行よりも幅広く認定できるよう改正を行うなど関係法令の整備を検討すること。

# ひきこもり自立支援条例を提案・制定

私たち自民党県議団は2月定例会において「ひきこもり自立支援条例」を提案し、制定しました。

ひきこもり状態にある方は、自身の将来をはじめとする様々な不安を抱えており、これはその家族も同様です。しかしながら、身近に支援を受けることのできる場所がなく孤立しているケースも多く見受けられます。ひきこもりの支援は、本人の意思を無視してはいけません。そして、本人及びその家族が孤立することのないよう、身近に安心して支援を受けることのできる環境を整備することが必要だと私たちは考えています。



# 地元・熊谷市内

## 県土整備部(令和4年度当初予算)

路線名等	事業内容
① 清水橋(熊谷羽生線)	橋りょう架換(L=4.5m、W=6.0(12.0m))
② 鈴が岡橋(太田熊谷線)	橋りょう架換(L=3.0m、W=6.0(12.0m))
③ 本庄妻沼線(永井太田)	交差点整備(L=423m、W=8.0(13.0m))
④ 深谷飯塚線(市ノ坪)	自転車歩行者道整備(L=460m、W=3.0m)
⑤ 弥藤吾行田線(江波)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業
⑥ 葛和田新堀線	道路改築(L=1,345m、W=6.0(12.0m))
⑦ 太田熊谷線(妻沼)	バリアフリー安全対策(波打ち改善)
⑧ 石原陸橋(国道140号)	橋りょう修繕(伸縮装置修繕)
⑨ 鎌倉陸橋(国道407号)	橋りょう修繕(補修設計、ひび割れ補修)
⑩ 原島橋(右)(国道407号)	橋りょう修繕(補修設計)
⑪ 原島橋(左)(国道407号)	橋りょう修繕(補修設計)
⑫ 新荒川大橋(国道407号)	橋りょう修繕(補修設計)
⑬ 熊谷大橋(武蔵丘陵森林公園広瀬線)	橋りょう修繕(補修設計)
⑭ 後原歩道橋(国道407号)	橋りょう修繕(塗装塗替)
⑮ 万吉歩道橋(ときがわ熊谷線)	橋りょう修繕(塗装塗替)
⑯ 刀水橋(国道407号)	橋りょう修繕(伸縮装置修繕)
⑰ 押切橋(深谷東松山線)	橋りょう修繕(橋脚保護)
⑱ 山王宮塚前歩道橋(国道140号)	橋りょう修繕(塗装塗替)
⑲ 新荒川大橋(国道407号)	橋りょう修繕(橋脚補強)
⑳ 押切橋(深谷東松山線)	橋りょう修繕(橋脚補強、落橋防止)
㉑ 熊谷大橋(武蔵丘陵森林公園広瀬線)	橋りょう修繕(橋脚補強、環境調査)
㉒ 美土里町新堀線(新堀)	舗装道整備(舗装修繕(W=9m、L=100m))
㉓ ときがわ熊谷線(万吉)	舗装道整備(舗装修繕(W=7.5m、L=100m))
㉔ 弁財深谷線(西城)	舗装道整備(舗装修繕(W=6m、L=100m))
㉕ 国道407号(中奈良その1)	舗装道整備(舗装修繕(W=6.5m、L=100m))
㉖ 行田東松山線(小八林)	舗装道整備(舗装修繕(W=7.5m、L=100m))
㉗ ときがわ熊谷線(野原)	舗装道整備(舗装修繕(W=7.5m、L=100m))
㉘ 熊谷小川秩父線(塩)	舗装道整備(舗装修繕(W=7m、L=100m))
㉙ 国道407号(中奈良その2)	舗装道整備(舗装修繕(W=2m、L=100m))
⑳ 和田川	河川改修(設計)
㉑ 和田吉野川	河川改修(用地測量)
㉒ 忍川	河川改修(測量設計)
㉓ 星川	河川改修(設計、法面整備工)
㉔ 福川(西野)	河川改修(河川管理施設修繕)
㉕ 福川(上根)	河川改修(河川管理施設修繕)
㉖ 和田吉野川	河川改修(河川管理施設修繕)
㉗ 元荒川	河川改修(河川管理施設修繕)
㉘ 岡排水機場(九頭龍川)	社会資本整備総合交付金(河川)事業(電気設備更新工、点検)

## 県土整備部(令和3年度2月補正予算)(国の補正対応分)

路線名等	事業内容
補① 岡山熊谷線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=2,440m、W=6.5(15.0)m)
補② 弁財深谷線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=900m、W=6.0(12.0)m)
補③ 弥藤吾行田線	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=420m、W=7.0(12.0)m)
補④ 和田吉野川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(護岸工、河道掘削工、設計)
補⑤ 福川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(天端舗装工)
補⑥ 和田川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(設計)





# の令和4年度のインフラ事業

地元・熊谷市において令和4年度、予算を確保することができましたインフラ事業です。

))m)  
))m)  
1)m)  
=7.5(15.0)m)  
全)事業(L=420m、W=7.0(12.0)m)  
))m)  
W=11m、L=250m))  
修)



## 都市整備部(令和4年度当初予算)

路線名等	事業内容
①熊谷スポーツ文化公園	公園等建設(空調新設等)
②熊谷スポーツ文化公園	社会資本整備総合交付金(公園)事業(駐車場舗装整備、既存空調機器改修等)
③熊谷スポーツ文化公園	競技施設等整備(陸上競技場走路改修等)

## 〈令和3年度2月補正予算〉

箇所名	事業内容
補①熊谷スポーツ文化公園	社会資本整備総合交付金(公園)事業(園路舗装)

## 農業基盤整備事業(令和4年度当初予算)

箇所名等	事業内容
①中条星宮(今井ほか)	かんがい排水事業(長寿化対策)(揚水機場補修1箇所、地下水機場補修2箇所)
②池上(池上)	ほ場整備事業(経営体育成型)(暗渠排水26.6ha、付帯工1式)
③上之東部(上之)	ほ場整備事業(経営体育成型)(測量設計1式)
④下増田(下増田)	ほ場整備事業(経営体育成型)(区画整理等3.6ha)
⑤真栄堰(沼黒ほか)	農地防災事業(河川応急)(測量設計1式)
⑥上須戸堰(上須戸)	農地防災事業(河川応急)(測量設計1式)
⑦泉・千代(柴ほか)	彩の国ゆたかなむらづくり整備事業(機能強化/管路施設1式、測量試験費1式)

## 〈令和3年度2月補正予算〉

箇所名	事業内容
補①池上(池上)	ほ場整備事業(経営体育成型)(暗渠排水23.1ha)

## 下水道局(令和4年度当初予算)

路線名等	事業内容
①元荒川幹線	流域下水道事業(県単)(管渠流量計改築工事実施設計業務委託)



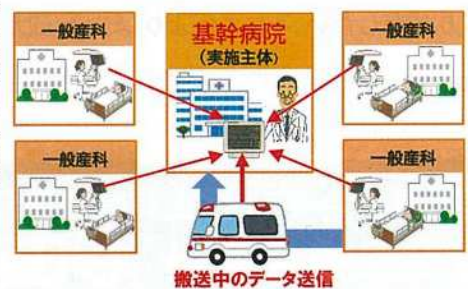
## 注目する令和4年度事業

■エッセンシャルワーカーの処遇改善  
.....136億3,125.5万円

看護師	保育士、幼稚園教諭、介護施設や障害福祉施設職員等
収入を1%程度引き上げ (月額4,000円) ※10月以降は診療報酬の改定により3%程度へ	収入を3%程度引き上げ (月額9,000円)

### ■地域の医療体制の充実

- 遠隔妊産婦モニタリング支援設備を活用した産科医療体制整備事業(新規):4,511.4万円
- 在宅医療提供体制の整備推進:3,914万円  
※医師の育成(一部新規)/アドバンス・ケア・プランニングの普及他
- 大動脈解離の救急医療体制の整備(新規):639.3万円
- 埼玉版ネウボラの推進(一部新規):2億6,899.5万円  
※母子保健と児童福祉の一体的相談支援体制の構築(新規)/子育て世代包括支援センターの整備促進・支援他



## 通学路の整備が進みます

昨年、千葉県八街市の通学路で起きた児童が犠牲になった痛ましい事故を受け、県内の通学路の一斉点検を行い、この度、緊急対策事業として通学路の危険箇所を整備することとなりました。熊谷市内の整備箇所は以下の通りです。(事業期間:令和4年~令和8年)

桜木町2-33-2	.....標識の更新など
高柳78-1	.....標識の更新など
上江袋434	.....横断歩道
久下1289-1	.....横断歩道
下川上1331-1	.....標識の更新など
弥藤吾1977	.....横断歩道
別府2-205	.....標識の更新など
別府2-150-2	.....標識の更新など
中奈良1872-5	.....横断歩道
中曽根415	.....一時停止
柿沼986	.....一時停止
桜木町2-33-5	.....横断歩道
妻沼小島1855	.....横断歩道

### ■多様なニーズに対応した教育の推進

- 学習環境のデジタル化(一部新規):7億6,195.6万円  
※県立学校におけるICT環境整備と活用支援事業(一部新規)/データサイエンス・AIリテラシー活用における調査研究(新規)/県立高校オンライン講座の実施(新規)他
- いじめ・不登校対策相談体制の充実(一部新規):9億7,825.1万円  
※スクールカウンセラーの配置/スクールソーシャルワーカーの配置拡充/オンライン相談の実施(新規)他
- 特別支援学校の整備(一部新規):48億9,513万円

### ■誰もが生き生きと活躍できる社会へ

- 若者人材の県内企業への就職支援(一部新規):5,992.2万円  
※県内企業合同インターンシップ情報説明会の開催(新規)/WEBの会社説明と対面のリアル面接を行う合同企業面接会の開催他
- 女性のキャリアアップへの支援(一部新規):2億4,832.5万円  
※潜在的求職者チャレンジ応援(新規)/多様なニーズに対応した就業支援他



18歳以上 新たな集団接種会場(ニットモール2F)

相談窓口 ☎0570-071-077

(午前9時～午後7時 ※土日祝も対応)

3回目接種券  
をお持ちの方

4/8~ 北部ワクチン接種センターを開設

予約は「県予約システム」へ▶



## 県民の安全・安心は「農業を強くすることから」



昨年9月定例会で、農産物のブランド戦略等を知事に質問

令和3年9月定例会で、杉田しげみは「県の令和2年の基幹的農業従事者は3万7683人と、平成27年の5万812人から大幅に減少しているが、新たに330人の方が就農するなど、取組の成果も見られる。新規就農者が抱える所得が少ない、技術の未熟さ、設備投資資金の不足等の課題は切実。これらの不安(特に資金面の支援)を解消するための支援強化策を」と質問。

さらに「熊谷市には農畜産物の研究開発機関である農業技術研究センター、農業の担い手を養成する農業大学校に加え、教育局の地域機関である総合教育センター-江南支所の3つが隣接。埼玉県の農業をどう強くするのかという共通課題がある中で、3機関の連携は埼玉農業の生産力向上につながる」と主張しました。

県民の安全・安心を守る農業予算が全体の1%とは、あまりにも低すぎます。



認知度も高く好評な「あまりん」に続く埼玉ブランド農産物をつくりたい!

### 県の農林部予算

総額 **221億9,582万円** (一般会計構成比 1.0%)

農業生産基盤の整備 50億2,012万5,000円

農地中間管理事業の推進 2億6,881万8,000円

埼玉ブランド農産物推進事業 739万6,000円

シャインと輝く 果樹産地育成事業 1,600万円

主な事業

農林水産試験研究の推進 2億8,202万3,000円

水田フル活用支援事業 2,744万円

### 感染拡大防止と社会経済活動の両立に向け 基本的対策の徹底とワクチン接種にご協力願います



(1都3県共同メッセージより)

## 4月1日(金)から 成人年齢が18歳に

これまで20歳だった成人年齢が明治以来140年ぶりに18歳に変わりました(4月1日現在、全国では200万人以上、県内では約13万5000人が新たに大人の仲間入り)。ご家庭でお子さんやお孫さんと『成人になるといふこと』について、さまざまな面から話し合うことをお願いいたします。

### 18歳になったらできること

「クレジットカードや携帯電話、アパート、ローンなどの契約」「10年有効のパスポート取得」「公認会計士や医師免許、薬剤師免許、司法書士、行政書士などの国家資格の取得」「結婚年齢は男女とも18歳以上に」等

※飲酒や喫煙、競馬や競輪、競艇などの公営ギャンブル、大型・中型免許の取得等は、これまで同様、20歳にならないとできません

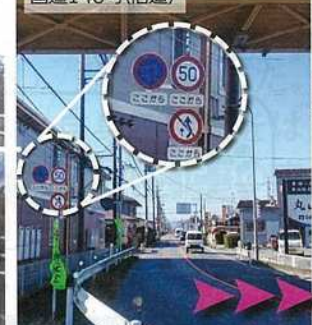
## 地元要望を実現! (下川上地区 国道140号 山王宮塚～大森生駅方面 もとのセンターライン塗り直し)

① 国道303号線(弥藤吾行田線)



塗り直された白線 改善後

② 国道140号(旧道)



改善後 40km規制に戻りました

① 令和3年11月、地元自治会からの要望。翌12月初旬にセンターライン引き直しが完了しました。  
② 「ある日突然、速度規制が50kmになってしまった。通学路でもあり危険なので元に戻してほしい」との要望により、元の40kmへの速度変更を要望。本年1月に40kmに戻りました。



③ 埼玉県発達障害総合支援センター(さいたま新都心・小児医療センター内)にて。同センター長 市川宏伸先生(前列左から三人目)から、本県の発達障害児支援に関する説明を受け、意見交換した後、施設見学をしました。



### 杉田しげみのお茶でも飲みながら

よい仕事の場や学びの場があり、よい仲間がいる。  
よい居住環境のもと、自然と風土を大切にしながら、よい文化をつくり共有したい。そして何より、よい行政があること。

杉田しげみが目指す地域づくりに皆さまの声をお聞かせください。  
お茶でも飲みながら 一緒にお話しませんか?

### 杉田茂実プロフィール

- ・昭和28年 熊谷市(旧江南町)生まれ
- ・平成19年 熊谷市議会議員初当選
- ・平成23年 熊谷市議会議員2期目当選
- ・平成31年 埼玉県議会議員初当選
- ・くまがやオレンジハートの会 会長 (子ども虐待防止活動)
- ・保護司
- ・PDWC高校生ディベート世界交流大会 副会長
- ・比企丘陵農業遺産推進協議会(※) 幹事会幹事

(※)「ため池稲作農法」を日本・世界農業遺産に申請する協議会

携帯:090-3211-6225

### “発達障害”について学習しました!

今や、程度の軽い人まで含めれば人口の10%は超えているかもしれないそうです。「外見のみではわからないため、周囲が気付かないことがある」「低年齢から存在するため、本人も気付いていないことがある」などの特徴があり、社会的支援が遅れてしまい、本人の生きづらさが解消されにくいことがあります。早期に気づき、早期に適切な支援を行うことが大切です。個性を尊重し、研ぎ上げる場をつくるのが、次に大切なことです。

しげみのひとり言



埼玉県議会 自由民主党県政調査事務所

埼玉県議会議員 杉田茂実事務所

〒360-0042 埼玉県熊谷市本町1-181

Tel. 048-526-1313

Fax. 048-522-1218

E-mail: s@sugita-shigemi.com

杉田しげみ

検索



ら・ぽ〜と(rapport)とは「信頼・調和・話し合う」という意味です。

# ら・ぽ〜と

埼玉県議会議員 北第5区(熊谷市)

県政報告 vol.10

# 杉田しげみ



2022年(令和4年)7月25日

発行:埼玉県議会 自由民主党議員団

http://sugita-shigemi.com



県行政を  
熊谷へ分散移転

【令和4年度所属委員会】 常任委員会…総務県民生活委員会(副委員長) / 特別委員会…経済・雇用対策特別委員会

県議会6月定例会報告

## 原油価格・物価高騰に対する経済支援として

補正予算 第1号・第2号 **27億4,975万1千円**

県議会6月定例会は6月17日から7月7日にかけて開催され、一般会計補正予算【第1号・第2号】あわせて27億4,975万1千円を議決しました。補正予算の主な内容は、ウクライナ情勢や円安の影響を受けている生活者や事業者を支援するため、国による「コロナ禍における『原油価格・物価高騰等総合緊急対策』」に基づくもので、県として緊急に対応すべき事業として生活者への支援(5億495万6千円)と事業者に対する支援(9億6,932万9千円)が大きな柱となっています。また、当面緊急に対処すべき事業に加え、脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備投資を促進するための予算(11億3,056万6千円)が盛り込まれました。

### 原油価格・物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援

<p>県内地域公共交通事業者への支援</p> <p>4億2,880万円</p> <p><b>概要</b> 県内の乗合バス及びタクシー事業者の運行継続を支援するため、燃料費高騰の影響分を補助する。</p> <p><b>補助対象等</b> ▶ 補助対象:乗合バス2,400台 タクシー5,900台 ▶ 対象期間:令和4年4月から9月まで</p>	<p>県内中小企業等の資金繰りへの支援</p> <p>7,000万円(債務負担行為 限度額 7億円)</p> <p><b>概要</b> 原油・原材料価格の高騰に対応するため、経営安定資金(知事指定業種)の緊急融資枠を拡大する。</p> <p>▶ 融資枠:100億円 → 300億円 ▶ 融資利率:0.6~0.8% ▶ 融資限度額:運転資金 8,000万円</p>
<p>県内観光関連事業者(貸切バス・旅行事業者)への支援</p> <p>2億9,306万5千円</p> <p><b>貸切バス事業者に対する経営支援</b> ▶ 補助対象:貸切バス1,800台 ▶ 補助額:15万円/台</p> <p><b>旅行事業者のバスツアー造成に対する補助</b> ▶ 補助額:日帰り 5万円/旅行商品 宿泊(県内) 10万円/旅行商品 宿泊(県外) 5万円/旅行商品</p>	<p>県内畜産農家への支援</p> <p>1億745万2千円</p> <p><b>概要</b> 県内畜産農家の経営支援のため、配合飼料価格のうち飼料メーカーの製造コスト上昇分の一部について補助する。</p> <p>▶ 補助額:配合飼料購入量 500円/トン</p>

## 降ひょう被害への緊急対策として

補正予算 第3号 **8億7,450万8千円**

6月2日および3日の降ひょうは県内において大きな被害を及ぼしました。私たち自民党県議団は被害の実態の把握を急ぐとともに、6月6日にはいち早く大野知事に緊急対策を求める要望書を提出。続いて6月21日には自民党県議団と自民党埼玉県連の連名で農林水産省及び自民党本部を訪れ、降ひょう被害と高騰する配合飼料価格に対する支援について要望活動を行いました。



▲ゴルフボール大のひょうが降り大きな被害となりました。

被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。



▲大野知事に迅速な支援対策を求める要望書を提出する自民党県議団。知事からは、必要な対策を速やかに講じる考えが示されました。(写真撮影のため、一時的にマスクを外しています)  
▲大野知事に被害状況について写真パネルを使い詳細な説明をし、県の力強い支援をお願いしました。

これを受け、6月定例会において補正予算【第3号】8億7,450万8千円が提案され議決しました。熊谷市をはじめ被害の大きい11市7町を農業災害対策特別措置条例に基づく「特別災害」に指定するとともに、指定されなかった4市についても実質無利子で融資が受けられる「農業近代化資金」の対象となることが決まりました。さらに、被害を受けた農業施設の修繕や苗などの購入費を補助する予算も盛り込まれました。

私たち自民党県議団は地域の経済と人々の生活を守るため、今後も全力で働く所存です。

## 総務県民生活委員会 副委員長に就任。

総務県民生活委員会とは、県庁総務部、県民生活部及び人事委員会に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項を審査します。



## 「県行政を熊谷に分散移転」し 県北の地盤沈下にストップ!

熊谷の皆さまに「県行政を熊谷に分散移転」をする夢を実現することを、ご提案して5年が経ちました。

議会において、この3年間2回にわたり一般質問をいたしました。

県内の大きすぎる南北格差を平均化する施策は様々ある筈です。私は県行政(県庁)の一部を熊谷に移転することが、熊谷市のみならず県北全体が元気になる必須条件と確信いたしております。実現に向けて誠心誠意努力いたします。



# 参院選 「自民党単独で改選過半数を獲得」 ありがとうございます

## 「速やかにできる治水対策から」

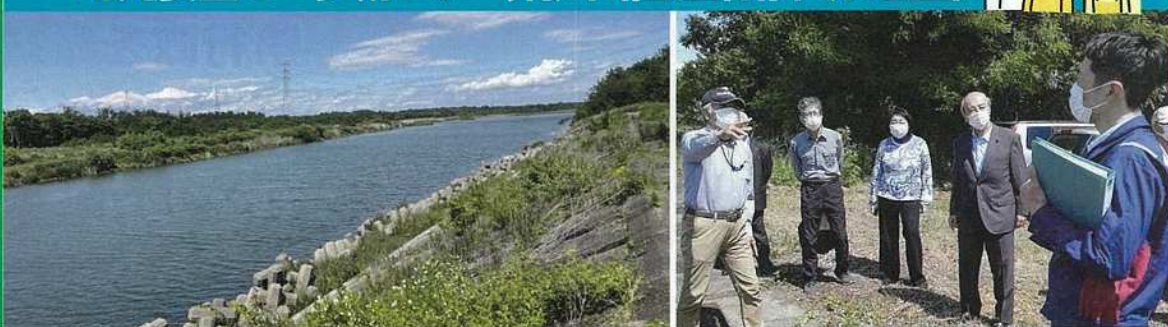
地元要望を一步前へ！ 荒川(旧江南押切地区)



熊谷駅にて  
虐待ゼロ呼びかけ

7月は「虐待ゼロ推進月間」です。すべての虐待をなくすため、熊谷駅コンコースにおいて、埼玉県主催による広報・啓発活動を行いました。

埼玉県虐待  
通報ダイヤル  
**#7171**



自治会の皆さんからの要望を受け、杉田しげみ・富岡信吾市議から「荒川(旧江南押切地区)の治水対策」を地元選出(11区)衆議院議員小泉龍司代議士に要望。荒川上流河川事務所長に現況を説明しました。3年前の東日本台風の恐怖は経験したくありません。速やかにできる治水対策から取り組んでいただきたいです。



健康に関する勉強会を開催

杉田しげみの活動を応援する「おふくちゃんの会」主催により、ゆうあい内科・脳神経クリニック院長 金三雄先生に「若返りの秘訣」と題してご講演をいただきました。



八坂神社大祭  
「熊谷うちわ祭」  
3年ぶりに開催



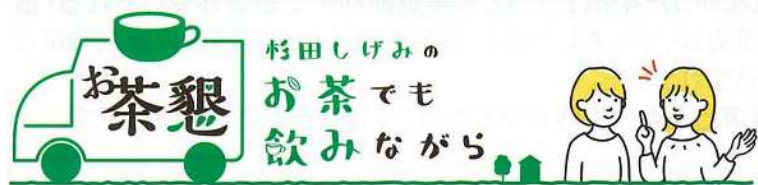
写真左 上新田諏訪神社(小柴捷子宮司)では、今年1月、県と市の補助事業として檜皮(ひわだ)の葺き替えをはじめとする保存修理事業を実施。5月14日には緻密な彫刻で装飾された本殿(埼玉県指定有形文化財)が特別公開され、約450人が来場しました。貴重な歴史的建造物を次世代に継承することが求められます。  
写真右 万吉氷川神社では7月14日に八阪祭、15日に夏越しの大祓式を実施。新型コロナウイルス対策を講じて、3年ぶりの夏祭りの開催に地域の皆さまの気持ちがひとつになりました。



3年ぶりのうちわ祭。最終日には大野元裕知事をお迎えしました。私も県議として祭事に参列しました。今年の年番町である、鎌倉区 大総代 中島正義氏は「至誠通神〜誠を尽くせば願いは神に通ず〜」のもと、真摯にお祭り向き合い、今できることを貫き、伝統文化の継承を第一に、疫病退散・五穀豊穡を祈念し、従来の大祭の姿を目指されたとのこと。自らの熱意で祭をつくりあげてきた熊谷人の心意気にふれた3日間でした。

## 埼玉県議会 9月定例会 一般質問に立ちます (9月30日(金)予定 ※日程は変更になる場合があります)

◆ 傍聴にご参加ください。お問合せは杉田茂実事務所まで ◆ 地域の問題がありましたら、ご意見をお聞かせください。



杉田しげみの  
お茶でも  
飲みながら

よい仕事の場や学びの場があり、よい仲間がいる。  
よい居住環境のもと、自然と風土を大切にしながら、よい文化をつくり共有したい。そして何より、よい行政があること。

杉田しげみが目指す地域づくりに皆さまの声をお聞かせください。  
お茶でも飲みながら 一緒にお話ししませんか?

### 杉田茂実プロフィール

- ・昭和28年 熊谷市(旧江南町)生まれ
- ・平成19年 熊谷市議会議員初当選
- ・平成23年 熊谷市議会議員2期目当選
- ・平成31年 埼玉県議会議員初当選
- ・くまがやオレンジハートの会 会長 (子ども虐待防止活動)
- ・保護司
- ・PDWC高校生ディベート世界交流大会 副会長
- ・比企丘陵農業遺産推進協議会(\*) 幹事会幹事

(\*)「ため池稲作農法」を 日本・世界農業遺産に申請する協議会  
携帯: 090-3211-6225



畑は夏野菜の花ざかりです

胡瓜の花・茄子の花・オクラの花・モロヘイヤの花・ゴーヤの花々の大合唱です。それぞれの花は同じ畑でどんな話をしているのでしょうか!? 飛び交うみつ蜂を待ち、夏野菜に成長するために黙々と役割を果たしてくれているに違いありません。私も、熊谷市が元気で住む人たちがシアワセである環境づくりに、黙々と役割を果たせる人になりたいです。

しげみの  
ひとり言



埼玉県議会 自由民主党県政調査事務所  
埼玉県議会議員 杉田茂実事務所

〒360-0042 埼玉県熊谷市本町1-181  
Tel. 048-526-1313  
Fax. 048-522-1218

杉田しげみ 検索

E-mail: s@sugita-shigemi.com



ら・ぽ〜と(rapport)とは「信頼・調和・話し合う」という意味です。

# ら・ぽ〜と

埼玉県議会議員 北第5区(熊谷市)

県政報告

vol.11

# 杉田しげみ



2022年(令和4年)10月26日

発行:埼玉県議会 自由民主党議員団

http://sugita-shigemi.com

討議資料



県行政を

熊谷へ分散移転

【所属委員会】 常任委員会…総務県民生活委員会(副委員長) / 特別委員会…経済・雇用対策特別委員会、決算特別委員会

## KENSEI HOUKOKU 県議会9月定例会報告

### 最大規模の補正予算で原油・物価高騰、新型コロナへの対応強化へ

# 補正予算【第4号】1,765億1,218万9千円

県議会9月定例会は9月22日に開会し、原油価格や物価の高騰、長引く新型コロナへの対応を目的とした補正予算【第4号】1,765億1,218万9千円の計上等を議決し10月14日に閉会しました。

補正予算の内、74億1,872万4千円は原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への緊急支援として、トラック運送事業者、観光事業者、農業者、福祉施設等への支援策が盛り込まれています。また、原油価格・物価高騰等の影響を受けにくい経営体質・生活様式への転換を促す支援策として15億83万5千円、生活困窮者等への緊急支援策として14億1,017万1千円、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として1,619億6,282万円等が盛り込まれました。

その他、今年1月にふじみ野市で医師らが散弾銃で撃たれて死傷した事件を受け、在宅医療等の安全対策費として1億9,616万円を計上し、複数人での訪問に係る経費や通話録音装置等の導入経費を補助することとなりました。

私たち自民党県議団はこれからも一丸となって、県民誰もが安全・安心に暮らせる社会の実現に向け、日々邁進してまいります。



県議会本会議において一般質問を行いました(令和4年9月30日)。質問の概要は2頁に掲載しています。

#### 原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への緊急支援

74億1,872万4千円

- ①福祉施設等の運営継続に対する支援 (21億8,972万8千円)  
高齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所、放課後児童クラブ、私立学校、土地改良区等に対し補助する。
- ②トラック運送事業者の経営改善に対する支援 (35億3,534万7千円)  
運送事業者に対し補助するとともに、運送費への円滑な価格転嫁を促進する。
- ③農業者の経営継続に対する支援 (10億8,859万4千円)  
価格転嫁が困難な酪農家や採卵鶏農家等に対し補助するとともに、自給飼料の生産性向上を図るため飼料用機械の導入経費等を補助する。
- ④観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援 (6億505万5千円)  
本県を目的地とする宿泊旅行に対して、最大3,000円分の地域観光クーポン券を配布する。



#### 原油価格・物価高騰等の影響を受ける生活困窮者等への緊急支援

14億1,017万1千円

- ①生活困窮者の相談機会の拡充 (2,497万円)  
相談支援員、弁護士等の専門家による相談や生活必需品の配布などを行う「生活困りごと相談会」を県内4つのエリアで開催する。
- ②自殺を思い悩む県民の相談体制の拡充 (2,404万6千円)  
SNS相談「こころのサポート@埼玉」の体制を強化するとともに、身近な人の悩みに気づき支えることのできる「ゲートキーパー」への理解を深めるため、県民や事業者向けの啓発・研修動画を作成する。
- ③ひきこもり支援の推進 (1,016万4千円)  
ひきこもり支援団体の活動内容を周知する動画を作成し、SNS等で発信する。
- ④生活福祉資金特別貸付の借受人の相談体制の拡充 (13億5,099万1千円)  
県社会福祉協議会におけるコールセンターの拡充や、市町村社会福祉協議会における弁護士などの専門家による相談体制の強化に要する経費を補助する。



#### 原油価格・物価高騰等の影響を受けにくい経営体質・生活様式への転換を促す支援

15億83万5千円

- ①グリーン分野への進出に向けた中小企業の事業再構築等の支援 (2億1,357万円)
- ②キャリアチェンジの促進 (1億4,684万3千円)
- ③海外での販路開拓に向けた支援 (1,000万円)
- ④化学肥料の使用量低減に向けた支援 (2億5,057万7千円)
- ⑤県産木材供給体制の構築 (4,900万円)
- ⑥民間企業や地域等の連携による観光振興の取組支援 (5,084万円)
- ⑦環境負荷の少ない自動車の普及推進 (7億5千円)
- ⑧県営住宅や県営公園における省エネ・再エネの推進 (8,000万円)



#### 新型コロナウイルス感染症の拡大防止

1,619億6,282万円

- ①ワクチン接種の推進 (75億230万8千円)
- ②医療提供体制の確保・強化 (1,480億4,304万8千円)
- ③感染不安を抱える妊婦への支援 (9,268万9千円)
- ④福祉施設における感染拡大防止対策
  - クラスター発生防止の推進 (35億9,040万円)
  - サービス提供体制の継続確保への支援 (27億3,437万5千円)







## 一般質問に登壇

県議会9月定例会  
令和4年9月30日

# 熊谷市と県北地域のため

9月定例会においては一般質問に登壇する機会を得て、6項目( )で「など4項目(概要)を掲載・ご報告いたします。皆さまのご感  
「県内農業を基軸とした、食料自給社会の早期実現を」 「『北部地  
(コミ

## 01 行政の分散について

### 県北が元気を取り戻すため「行政にしかできないこと」を



**杉田しげみ** このテーマは、県北部熊谷市選出である私のアイデンティティとも言うべき、活動の中心にしている最重要課題です。私が行政の分散、とりわけ県北部への機能移転を訴える背景には、県北部地域が元気を失っていくことに対する強い危機感があります。

熊谷市は平成19年における人口約20万4千人をピークに、平成28年で20万人を割り込み、人口減少に歯止めがかかりません。この間、県南部の自治体が人口を増やし続けていることとの格差は歴然です。県は北部地域の様々な施策を打ち出していますが、**根幹をゆるぎないものにしない限り民間の頑張りは継続できません。行政にできる、むしろ行政にしかできないことがあるのではないのでしょうか。**

例えば、県庁舎で働く職員の内3分の1が所掌事務とともに県北部に移ったところをイメージしてください。庁舎に向かう人の流れ、それに伴う官民の情報の集積は、この地域の存在感や資産価値を高め、周辺の商業地・住宅地に大きな波及効果を生むでしょう。さらには、新しい公共交通の創出もあるでしょう。朝の通勤時間帯に南に集中していた人やモノの流れが変わります。適度なゆとりを保ったこの新しい潮流は、**北部地域の人々の笑顔と活力を運ぶものです。最初は細くとも、いずれ成長することは必至です。**

私たち県議会は、去る6月23日に「県庁舎の県北部地域への整備を求める、埼玉県議会議員連盟」を立ち上げ、一足早く問題意識を示しまし

た。新たな県庁舎の立地については、「県庁舎再整備検討委員会」において活発な議論がなされ、一から検討されることを期待します。

新庁舎の竣工までには時間もかかるでしょう。行政の分散はもっと短い時間軸で検討されるべき喫緊の課題です。県北地域の地域機関や官民の遊休施設を活用すれば、新たな県庁舎整備の議論に先行し、機能分散は比較的容易に実現可能だと考えます。そこで、南北格差の解消、県土の均衡ある発展の視点も含め、これまで行政機関の分散についての検討はどのように進めてきたのか、大野知事に伺います。

**大野知事** 議員お話しのとおり、**県の役割を最大限発揮するため、行政機関の配置をゼロベースで検討すべきとの考えに私も同感です。**行政のデジタル化の進展により、県民や事業者が行う行政手続の3分の2以上がオンラインで対応が可能となっており、また、庁内においても約6割の会議・研修がオンラインを活用しています。

一方、議員ご指摘の北部地域の振興や県土の均衡ある発展は**大変重要な視点であり、行政として何が最適解であるかを常に考える必要がある**と思います。現在、庁内では、地域機関業務を本庁でできないか、本庁の業務や職員を地域機関に移せないかなど、ゼロベースで検討をしているところです。こうした中で、**県土の均衡ある発展も含め、あらゆる視点からしっかりと検討を進めたい**と考えます。



## 行政の分散はリスク回避にも有効



**杉田しげみ** 近年の台風や豪雨などの自然災害の猛威はこれまでの常識を超え、県内のいづれかが深刻な被害に遭うか予測が不可能な状況です。にもかかわらず、災害対応、その後の復旧作業を指揮する県庁の機能に十分なバックアップがあるとは考えられません。行政機関が本来期待される役割を最大限発揮するためには、県内の配置は既成概念を捨てて見直されるべき時期にきています。新型コロナ禍を契機として、今や県庁の会議もオンラインが中心と聞いています。県庁の幹部が常に現庁舎に集まっていることに、**リスクこそあれメリットは少ないのではないのでしょうか。**

知事就任以来、様々な外部環境の変化を重ねられた今、行政の分散についての現在の考えをお聞かせください。

**大野知事** 近年災害が多発していることを踏まえ、議員ご指摘の災害時における県庁舎のバックアップ機能をどのように確保すべきかという視点からの検討も大変重要と認識しています。県庁所在地に職員が現実に通うという姿や、地方機関との関係の在り方などからゼロベースで検討する必要があります。関係者間の議論を通じ、様々な外部環境への変化に対応できる行政機関をつくることにより、734万埼玉県民の期待に応えることが、私の責務です。

## 02 公立中学校運動部活動の地域移行について

### この動き、いささか拙速すぎるのでは…



**杉田しげみ** 令和4年6月6日に、「運動部活動の地域移行に関する検討会議」からスポーツ庁長官へ提言がなされ、令和5年度から7年度を目途とした改革集中期間を設け、運動部活動が段階的に地域移行を目指していく考えが示されました。現在、公立中学校の部活動の担い手を地域に移行する動きが進められていますが、いささか拙速すぎるのではないかと危惧しています。

本県では、モデル事業として令和3年度より、白岡市立4中学校(生徒数1,254人)を対象に、「地域運動部活動推進事業」を推進していますが、この実践研究で顕在化した課題や成果について伺います。

**教育長** 白岡市では市内の全中学校4校の8つの運動部活動で、部員約200人を対象に実践研究を行っていますが、市内全ての運動部活動

を地域移行できるだけの指導者の確保、また、実施主体が事務処理等に不慣れといった、組織運営上の課題が明確になりました。一方で、指導員は専門的な知識、技能を生かした丁寧な指導を行い、生徒や保護者から「安心して指導を受けることができた」との声も聞いています。

県では、各市町村の担当者を集めた実践研究報告会を開催し、これまでの課題と成果を県内市町村に情報提供したところです。今年度は白岡市に加え、戸田市でも実践研究をしていますので、引き続き、その研究成果や他県での先進事例なども情報提供し、市町村における部活動の地域移行を支援します。





# 「行政の分散」等を県に質問・提言



について県の施策に対し質問・提言を行いました。本号ではその中から「行政の分散について」や県政に対するご意見などをお寄せください。

「地域振興交流拠点」については、vol.12 12月定例会県政報告に掲載いたします。

ユニティひろば

## 最優先すべきは「生徒にとって何がベストか」



**杉田しげみ** 運動部活動は教育活動の一環として学校が責任を持って実施することで、教育的効果を上げてきました。この仕組みを安易に失うことがあってはいけないのではないのでしょうか。生徒にとって何がベストかという視点を最優先し、生徒や保護者の視点での検討を忘れてはならないはずです。教育長の考えを伺います。

**教育長** 議員お話しのとおり、部活動は教育活動の一環として実施

され、体力や技能の向上をはじめ、良好な人間関係の構築や自己肯定感、連帯感の涵養など様々な教育的効果を上げてきました。そのため、学校と地域が地域移行の意義を共有し、それぞれが責任を持って取り組むことが大切であり、生徒や保護者の視点を忘れることなく、特に生徒にとってより良いものとなるよう、県としても市町村を支援してまいります。



## 教員の増員も検討を



**杉田しげみ** 部活動に対する教員の大きな業務負担が課題となっています。学校の働き方改革は最重要課題ですが、その解決を部活動の地域移行によるだけでなく、教員の増員などによる対応も検討すべきではないかと思えます。

**教育長** 抜本的な教員の負担軽減には、教育環境のさらなる整備や業務そのものの削減も必要ですし、議員お話しのとおり、教員の増員は大

きな効果があると考えます。現在、国は通級指導及び日本語指導の充実のための加配や生徒指導の支援体制強化のための加配など、教員の定数改善を進めています。県としては、今後もあらゆる機会を捉えて教員定数の改善を国に強く要望するとともに、学校における業務改善や業務削減を行うなど、働き方改革を強力に推進し、教員が生徒の成長を支えていけるよう取り組んでまいります。

## 03 県営公園の資産有効活用について

### 「運営」方法により予算削減、「稼ぐ力」に



**杉田しげみ** 指定管理者制度は、民間の力を活用し効率的な施設運営を目指すものですが、収入を生み出し、公園施設に還元するという仕組みにはなっていません。自治体の負担を軽減する意味でも、民間の企画力や運営能力のある事業者に「運営」者として参加いただき、公園の魅力作り、事業収支もしっかり試算して、取り組む仕組みを構築することが重要です。平成29年に都市公園法が改正され、Park-PFI（公募設置管理制度）が加わりました。県営公園をいかに「運営」するかにより、予算削減が可能となります。正に「稼ぐ力」の創出であり、積極的に制度を活用すべきです。県はどのような公園が民間活用の可能性があるかと判断されているのか伺います。また、Park-PFIなど、民間事業者との連携に関する今後の対応について伺います。

**都市整備部長** 県では令和元年に都市整備部が所管する27の公園を対象に、民間事業者9社に対しサウンディング調査を行ったところ、「幹線道

路沿いや市街地に近いなどアクセスが良く、集客力の高い公園は、民間事業者が参画する可能性が高い」との意見があり、大宮スーパー・ボールパーク構想を検討している大宮公園や最寄り駅が近い所沢航空記念公園などは民間活力を導入できる可能性があると考えます。また、熊谷スポーツ文化公園では、民間団体への設置管理許可により宿泊施設やカフェを備えた「さくらオーバルフォート」が整備され、埼玉パナソニックワイルドナイツの活躍もあり賑わいが生まれています。

民間活力を生かす手法は、公園の立地や特徴、周辺環境のほか、民間事業者による採算性の判断から、Park-PFIだけでなく公園ごとに適切に選択または組み合わせることが重要です。民間事業者との意見交換を重ね、Park-PFIなど新たな官民連携手法による公園整備と、管理手法の導入に向け検討を進めます。



さくらオーバルフォート（熊谷スポーツ文化公園）

## 04 県道青山熊谷線バイパスの整備について



**杉田しげみ** 県道青山熊谷線バイパス整備について、熊谷市から東松山市方面へ、大里中学校を過ぎた先は、バイパスが繋がっていません。一旦、現道に戻り、国道407号まで行かなければなりません。この現道は幅員が非常に狭く、歩道は一部のみで、バイパスの完全完成を望む声が私のところにも数多く届いています。県道青山熊谷線バイパスの進捗状況と今後の見通しについて伺います。

**県土整備部長** 現在、熊谷市道大里70号線から国道407号までの約1.1km区間について事業を進めており、用地買収率は87%、令和3年度か

らは和田吉野川に架かる橋梁の下部工事や交差する国道407号の道路拡幅工事を実施し工事進捗率は22%となっています。令和4年度は、引き続き用地買収を進めるとともに、残る橋梁下部工事や用地がまとまって取得できた箇所から道路改築工事を実施します。

今後とも、地元の皆様のご理解とご協力を頂きながら、バイパスの早期完成に向けて事業を推進してまいります。



総務県民生活委員会副委員長として、9月定例会最終日の本会議において委員長報告を行いました。

### 一般質問全項目

- 1 行政の分散について…（知事）
- 2 県内農業を基軸とした、食料自給社会の早期実現を  
(1) 自給社会構築に向けた県の取組とランドデザインについて…（知事）  
(2) 食料自給社会の早期実現に向けた具体策について…（農林部長）
- 3 「北部地域振興交流拠点」について…（知事）
- 4 公立中学校運動部活動の地域移行について…（教育長）
- 5 県営公園の資産有効活用について…（都市整備部長）
- 6 県道青山熊谷線バイパスの整備について…（県土整備部長）

※一般質問の詳細（全文）は県議会のホームページをご参照ください。→

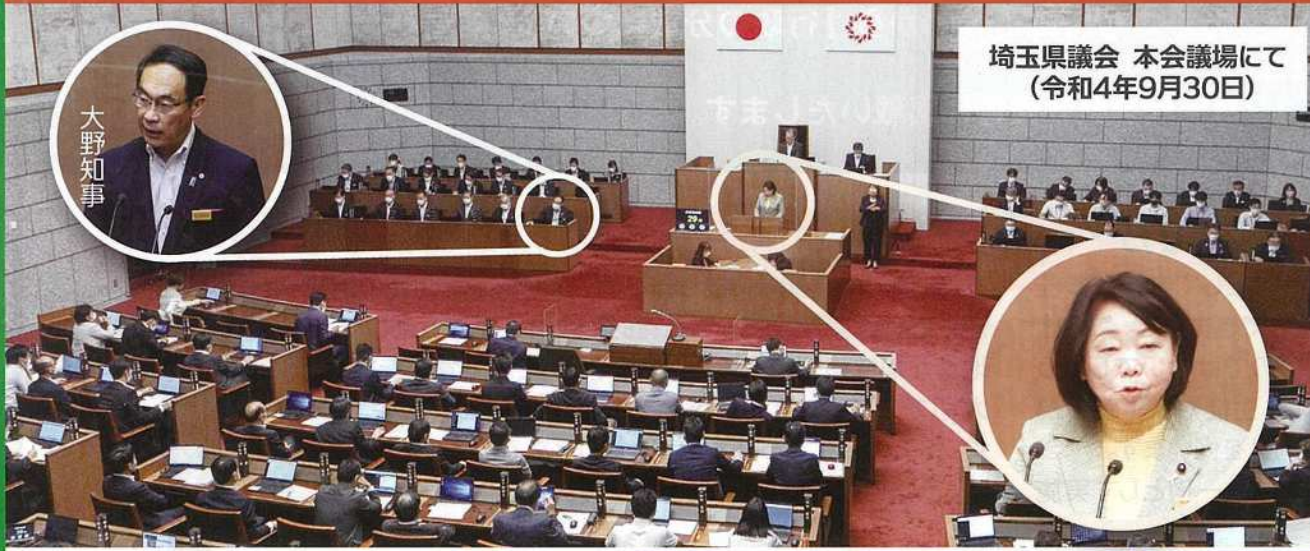




# 「熊谷と県北地域の発展のために」一般質問

(当日の質問内容は中面をご覧ください)

録画映像が  
ご覧になれます  
(県議会ホームページ)



埼玉県議会 本会議場にて  
(令和4年9月30日)

**荒川右岸(旧江南押切地区)**  
「速やかにできる治水対策から」**地元要望** 一歩前進!



自治会の皆さんからの要望を受け、杉田しげみ・富岡信吾市議から衆議院議員小泉龍司代議士に要望していた押切地区の治水対策。5月23日に現地視察し「速やかにできる対策から」との提言に荒川上流河川事務所から9月8日に回答がありました。地元要望、一歩前進です。引き続き要望していきます。

- ◆荒川上流河川事務所からの回答は…(抜粋)
- ・中州の土砂撤去等により水害リスクを低減
  - ・予算確保を含め、測量や一部の工事を検討

当日は、熊谷市から大勢の後援会の皆様、朝早くから傍聴に駆けつけてくださいました。メモを取る人もあり、熱気に包まれました。



傍聴後の  
セレモニー



(左)松本富男連合後援会長 (右)富岡信吾選対本部長、熊谷市議の皆さま



知事に  
直接要望



1 NTTジャパンラグビー リーグワン 初代チャンピオンに輝いたパナソニックワイルドナイツの優勝パレード。大野知事と中屋敷議長にお越しいただきました。2 東日本ペタンク選手権大会の開会式にて 3 問屋町まつりの会場でティーエムクリニックさんに骨密度を測っていただきました。結果はナント!「20歳代」でした。4 打ち水大作戦2022にて参加者の皆さんにご挨拶。5 北本市で行われた「第43回 九都県市合同防災訓練」に参加しました。



## 「お口は万病の元」 歯の大切さを学ぶ勉強会

杉田しげみの活動を応援する「おふくちゃんの会」主催の講演会。大変ご多忙の中、日本学校歯科医会・日本学校保健会 副会長 齋藤秀子先生にお越しいただきました。「他の病気を引き起こさないためにも、むし歯や歯周病は早期発見・対応を」等のご講演に「いかに歯の健康が大切か」を再認識し、参加の皆さんと齋藤先生のお話に引き込まれました。厚生労働省の発表では「8020(ハチマルニイマル)運動」を達成している方は2016年で51.2%。2022年に60%を目指しているそうです。私たちも一緒に取り組みましょう!



よい仕事の間や学びの間があり、よい仲間がいる。  
よい居住環境のもと、自然と風土を大切にしながら、よい文化をつくり共有したい。そして何より、よい行政があること。  
杉田しげみが目指す地域づくりに皆さまの声をお聞かせください。  
お茶でも飲みながら 一緒にお話しませんか?

**杉田茂実プロフィール**

- ・昭和28年 熊谷市(旧江南町)生まれ
- ・平成19年 熊谷市議会議員初当選
- ・平成23年 熊谷市議会議員2期目当選
- ・平成31年 埼玉県議会議員初当選
- ・くまがやオレンジハートの会 会長 (子ども虐待防止活動)
- ・保護司
- ・PDWC高校生ディベート世界交流大会 副会長
- ・比企丘陵農業遺産推進協議会(※) 幹事会幹事

(※)「ため池耕作農法」を日本・世界農業遺産に申請する協議会

携帯:090-3211-6225

優しさを保つために  
しげみのひとりの言

爽やかな秋は、足早に初冬に向かいます。大好きな柿が庭先で色づき始めました。咳止め効果があるので、柿子をとにかく食べます。  
「木守り柿(こもりがき)」は、来年の豊作への祈願であり、野鳥のために残しておくとも言われています。昔から、循環型社会は生活の知恵。大切なことを忘れたくないですね。  
優しさを保つために…。

埼玉県議会 自由民主党県政調査事務所  
埼玉県議会議員 杉田茂実事務所  
〒360-0042 埼玉県熊谷市本町1-181  
Tel. 048-526-1313  
Fax. 048-522-1218 E-mail: s@sugita-shigemi.com  
杉田しげみ 検索

【個人情報の取扱いに関するお知らせ】 平成17年4月1日より施行されました「個人情報の保護に関する法律」に対応し、ご加入される皆さまの個人情報は本会の目的以外には使用しません。ご紹介によりご加入頂きました方につきましては、ご本人の同意を得たものと理解させていただきます。 ※本会にご加入頂いた方には、杉田茂実の県政報告情報をお送りさせて頂くことがあります。